

令和元年度事業報告書

1 火災予防思想の普及啓発事業

国民に対する防火思想の普及啓発及び高揚を図るため、次の事業を実施した。

(1) 防火ポスターの作成・配付

秋の全国火災予防運動（11月9日から同月15日まで）及び春の全国火災予防運動（3月1日から同月7日まで）を広く国民に周知するための防火ポスターを作成し、消防本部等に配付して防火思想の啓発活動を支援した。

- 〈標語〉 「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」
- 〈モデル〉 久間田琳加（女優）
- 〈作成枚数〉 秋・春各153,000枚
- 〈配付先〉 都道府県、消防本部、関係団体等

(2) 林野火災防止用標識の作成・配付

林野火災を防止するため、入山者に対する林野火災防止の啓発活動に資する標識を作成し、希望する消防本部又は市町村に配付し、入山口やハイキングコースの人目に付き易い場所への設置を要請して、林野火災防止活動を支援した。

- 〈作成数〉 3,500枚
- 〈配布団体数〉 70団体（1団体あたり30枚から150枚）

2 国民保護をはじめとする危機管理の普及啓発事業

国民保護をはじめとした危機管理意識の普及啓発及び国民保護等の危機管理体制の充実発展を図るため、次の事業を実施した。

(1) 危機管理体制調査研究

「地域住民による自主的な避難行動」についてインタビュー調査や質問紙調査などを実施し、当該行動の促進・阻害要因の抽出及び関連施策案の検討を行った。この成果を調査研究報告書にとりまとめ、全

国の都道府県及び市町村をはじめとする関係各所に配布した。

〈作成部数〉 1, 840部

〈配布先〉 都道府県、市町村、研究施設

(2) 危機管理普及啓発用ハンドブックの作成・配布

「住民による避難所運営」をテーマにした冊子「危機管理ハンドブック⑩みんなで取り組む避難所の運営」を作成した。本冊子を地方自治体や消防本部を通して各地域の一般住民に配布し、住民の危機管理意識の高揚を図った。

〈作成部数〉 210, 000部

〈配布先〉 都道府県、市町村、消防本部

(3) 携帯用防災小冊子の作成・配布

近年年間4万件弱の火災が発生し、1,400人以上が亡くなるとともに、毎年のように台風や集中豪雨による水害も多発している。こうした火災、自然災害から命を守るための知識を習得できるよう、火災・防災・救急編からなる小冊子「わが家の防火防災ミニガイド」を作成した。

全国の配付先消防本部等から、消防・防災フェアなどのイベント開催を通じて一般住民に配布し、住民の防災意識の高揚を図った。

〈作成部数〉 210, 000部

〈配布先〉 都道府県、消防本部

(4) 地方公共団体の危機管理に関する研究会の開催

地方自治体の危機管理体制の充実・強化に寄与する目的で、防災・危機管理の分野に精通した研究者や実務家などを講師として招き、地方公共団体の職員などを対象に全国4か所で研究会を開催した。

【第1回】福岡市 令和元年5月22日（水）福岡朝日ビル（参加者88人）

〈講師〉

東北大学 西出則武

防災科学技術研究所 内山庄一郎

静岡県 植田達志

内閣府 西中隆

【第2回】札幌市 令和元年7月26日（金）北農健保会館（参加者70人）

〈講師〉

内閣府 西中隆

東京医科歯科大学 大友康裕

防災科学技術研究所 内山庄一郎

【第3回】名古屋市 令和元年8月22日（木）ウイंकあいち

（参加者91人）

〈講師〉

名古屋大学 福和伸夫

神戸市外国語大学 芝勝徳

LINE株式会社 江口清貴

東北大学 西出則武

【第4回】東京都 令和元年10月16日（水）日本消防会館（参加者70人）

〈講師〉

東京大学 平田直

石巻市 二上洋介

LINE株式会社 江口清貴

東京医科歯科大学 大友康裕

(5) 地方公共団体の危機管理に関する調査研究

防災・危機管理に関する最新の知見を収録した論文集「危機管理レビュー Vol. 11」を作成、配付することで、防災・危機管理に関する知識の共有化を図った。

〈作成部数〉 640部

〈配布先〉 研究施設、大学図書館

3 住宅防火対策の推進事業

住宅防火対策の推進を図るため、次の事業を実施した。

(1) 住宅防火防災推進シンポジウムの開催

「地域ぐるみで考えよう！住宅防火と防災対策」というテーマで、住宅防火防災推進シンポジウムを全国3か所で開催した。学識経験者によ

る住宅防火に関する基調講演、住宅用火災警報器の設置・維持管理など住宅防火への取組、震災時の住宅防災対策などを内容としたパネルディスカッション、住宅防火対策グッズの展示のほか、タレントを起用した防火防災のトークショーなどを実施して、住宅防火に対する理解を深め、住宅用火災警報器をはじめ各種住宅用防災機器等の普及啓発を図った。

〈開催日時・場所〉

ア 令和元年11月10日（日）栃木県那須塩原市黒磯文化会館

イ 令和元年11月30日（土）静岡県磐田市

アミューズ磐田ゆやホール

ウ 令和元年12月20日（土）山口県宇部市文化会館

〈来場者数〉 7 1 6 名（3会場の合計）

（2）CATV等による住宅防火広報

消防本部で実施されるイベントの機会にCATV（ケーブルテレビ）の番組を制作し、放送する事業を全国3か所で実施した。

〈開催日・場所〉

ア 令和元年 9月 7日 岩手県遠野市

イ 令和元年11月 2日 和歌山県和歌山市

ウ 令和 2年 2月22日 千葉県八千代市

（3）住宅防火広報資料の作成・配布

消防庁の全国消防イメージキャラクター「消太くん」を活用して、住宅用防災機器等の交換時期の紹介や各種住宅用防災機器の紹介、子供の火遊び防止策を入れたうちわ『消太くんの住宅防火広報用うちわ』を全国の消防本部に配布し、防火普及の啓発に努めた。

〈作成部数〉 5 5 , 0 0 0 部

〈配布先〉 消防本部

（4）住宅防火啓発用冊子の作成・配布

高齢者と子供のために住宅火災の注意点等を分かりやすく紹介するとともに、住宅火災を未然に防ぐための住宅用火災警報器の点検方法、連動型住宅用火災警報器や住宅用消火器の使い方などを紹介した冊子

「家族を守る住宅火災の注意点」を、日本消防検定協会からの委託で作成し、全国の消防本部に配布し防火普及の啓発に努めた。

〈作成部数〉 40万部

〈配布先〉 消防本部

(5) 国際福祉機器展への出展

東京国際展示場（東京ビッグサイト）で、令和元年9月25日～27日までの3日間開催された「第46回国際福祉機器展 H.C.R.2019」に、(一社)日本火災報知機工業会、(一社)日本消火器工業会、(一社)日本消火装置工業会、ガス警報器工業会、(公財)日本防災協会及び(一財)消防試験研究センターの協力を得て出展し、住宅用火災警報器、住宅用消火器、住宅用スプリンクラー設備、防災品、ガス警報器の普及・設置促進等を主体とした住宅用防災機器等の展示及び住宅防火意識の高揚を図るための広報並びに消防設備士試験・危険物取扱者試験に関する展示及び広報を行った。

〈来場者数〉10万5千人(会場全体)、ブース訪問者3,750人以上

4 刊行物の頒布事業

「消防年報」、「火災年報」等の刊行物を発刊した。

5 理事会等の開催状況

(1) 第1回理事会（令和元年6月5日）

- ① 平成30年度事業報告について
- ② 平成30年度決算報告について
- ③ 評議員会の開催及び理事の選任について

(2) 第1回評議員会（令和元年6月20日）

- ① 平成30年度事業報告について
- ② 平成30年度決算報告について
- ③ 理事の選任について

(3) 第2回理事会（決議の省略）

議案「代表理事の選定（下河内司氏）」

(4) 第2回評議員会（決議の省略）

- 議案「評議員の選任（村上研一氏）」
- (5) 第3回理事会（令和2年3月3日）
- ① 令和2年度事業計画書について
 - ② 令和2年度収支予算書について
 - ③ 評議員会の招集について
- (6) 第3回評議員会（令和2年3月25日）
- 理事の選任について（鈴木浩永氏）
- (7) 第4回評議員会（決議の省略）
- 議案「評議員の選任（大岡信氏）」